

三輪茂町長は 日高町議会6月会議 において 町政執行方針を述べ 行政運営に対する 決意を表明しました。



平成26年日高町議会6月会議の開会にあたり、私の3期目初年度の町政執行につきまして、所信を申し述べさせていただきます。町民の皆様をはじめ議員各位の御理解と御協力をいただきますと存じます。

我が国の経済は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」の効果もあつて、プラス成長と、着実に上向いております。しかしながら、景気回復の実感は、中小企業・小規模事業者や地域経済には未だ十分に浸透しておらず、また、業種ごとによらつきがみられ、物価動向についてもデフレ脱却は道半ばの状況であります。

私ども市町村でも、長引く景気の低迷、少子高齢化、人口の減少等様々な難題が山積しており、依然として厳しい財政状況の中ではあります。が、引き続き効率的な財政運営を行いながら事業の取捨選択を行い、地場産業の振興、福祉の充実、公共サービスなどの更なる質の向上に務めてまいります。

平成26年度の日高町一般会計予算につきましては、老朽化した公共施設の計画的整備及び東日本大震災を教訓とした防災減災事業など、日高町総合振興計画の重要課題に重点配分した結果、一般会計の予算規模は、108億3353万円となりました。前年度予算に対しまして、10億1353万円、10・3パーセントの増となったところであります。

私が「いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまち」を町政執行の目標に掲げ8年が経ちました。いまだ様々な課題がありますが、この目標達成のため一步一步着実に前進してまいります。

次に主要な施策の推進について申し上げます。

地域産業の振興

はじめに、地域産業の振興について申し上げます。

◎農業の振興

稲作につきましては、引き続き安全で食味のよい米作りを推進し、地域ブランドの確立を目指しながら、米の直接支払交付金の減額による農家所得の減少を飼料用米への取り組みで確保できるように、技術支援を進めるとともに、転作物の定着と産地形成に向け、水稲主体の経営に代わる地域の振興作物の定着を図ってまいります。

施設野菜につきましては、高温対策を継続するとともに輪作作物の導入、出荷作業の共同化等により、良質な野菜の安定的な生産に努めてまいります。また、新たな振興作物のハウス栽培の実証実験と薬草栽培につきましては今年度も継続して実施してまいります。

◎酪農業の振興

酪農につきましては、生産量と経営を安定化するため、飼料生産の協業化等を進めてまいります。また、新たに優

知恵を絞り、 新たな情熱を持って 町政執行に取り組む

良牛群の形成を図るための受
精卵移植事業に支援を行って
まいります。

肉用牛につきましては、優
良黒毛和牛群の形成を進める
ための優良肉用牛繁殖素牛導
入事業及び優良繁殖雌牛定着
化事業を引き続き行ってまい
ります。また、防疫事業の徹
底と育成技術の向上を図り、
質の高い肉用牛経営を推進し
てまいります。

効率的な財政運営を行いながら 事業の取捨選択、地場産業の振興 福祉の充実、公共サービスなどの 更なる質の向上に努める

◎後継者対策

農業者の高齢化、後継者不
足問題につきましては、道内
外からの新規就農希望者の受
入れ、農家子弟のUターンの
促進を図ります。また、農業
後継者の花嫁・花婿対策を継
続して実施いたします。

◎軽種馬の振興

軽種馬につきましては、馬
産地再活性化緊急対策事業を
活用したリース事業を引き続

き実施してまいります。ま
た、経営の健全化、安定化を
図るため、肉用牛経営、施設
園芸などの複合経営又は経
営転換を推進してまいりま
す。

◎ホッカイドウ競馬

昨年度のホッカイドウ競馬
の発売状況につきましては、
関係者のご努力、産地の様々
な取り組みにより、計画比及
び前年比が100%を超える
結果となったほか、北海道競
馬会計の決算も2年ぶりの黒
字となりました。今後とも競
馬場のある町として、ホッカ
イドウ競馬の一層の安定経営
に向けて支援してまいりま
す。また、地域の観光資源を
活用した観光対策により、門
別競馬場への集客確保を促進
し、発売額や来場者の増進を
図ります。

◎水産業の振興

水産業につきましては、藻
場・干潟の維持のため、環
境・生態系保全活動事業を継
続して実施するとともに、シ

シヤモふ化放流、マツカワ稚
魚放流、ホツキ稚貝放流、ヒ
トデ駆除の各事業に対し引き
続き支援を行ってまいりま
す。また、新たにホツキ漁場
保全のための実証試験事業、
さけ・ますふ化放流施設整備
事業を支援してまいります。

◎林業の振興

林業につきましては、森林
環境保全整備事業等により町
有林の育成・保全を図り、
「災害に強い森林づくり・自
然環境を大切に育てる林業」
を目指してまいります。民有
林整備事業につきましては、
伐期齢に達した森林の伐採や
除間伐を促進し、地域林業の
活性化を図ります。また、地
場材活用促進事業により住宅
の新築、増築への地場材使用
を促進し、地材地消を目指し
ます。

◎有害鳥獣対策

有害鳥獣対策につきましては
は、日高管内統一の取組みと
して一斉駆除を実施してまい
ります。また、ハンターの育

成のための狩猟免許取得及び
わな免許取得に対する助成制
度を継続するとともに、わな
の無償貸与により捕獲を強化
し、エゾシカによる農林業被
害の減少に努めてまいりま
す。

◎商工業の振興

商工業につきましては、合
併以来懸案となっていた門別
地区と日高地区のカード会が
今年度合併し、新たに「日高
カード会」として発足したこ
とから必要な支援を行い、消
費拡大を図ります。

消費者支援対策としてしまし
ては、苦情相談への対応のほ
か、消費者被害情報の収集や
情報の提供により被害防止に
努めます。

◎観光産業の振興

観光につきましては、各種
イベントや観光プログラムを
提供しながら、日高町の魅力
を発信して誘客に努めてまい
ります。

門別地区におきましては、
門別競馬場を活用した観光対